

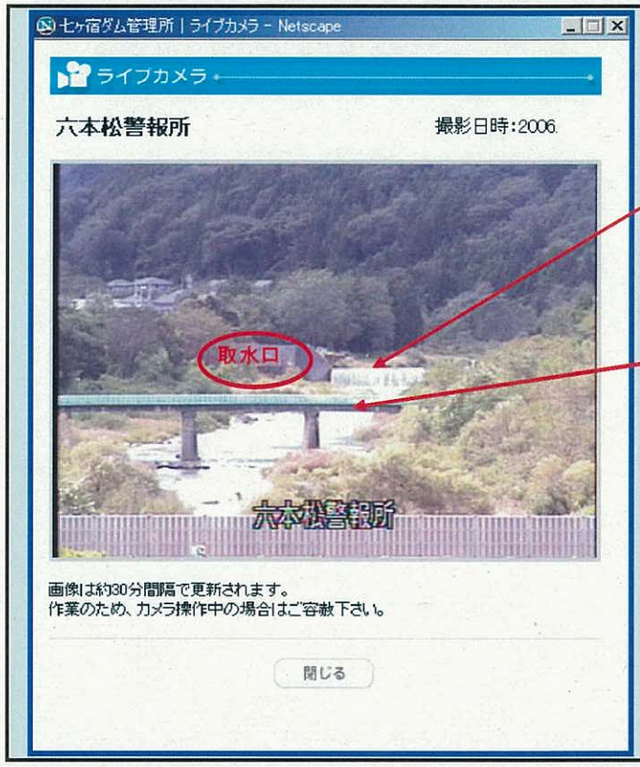
ダム堤体下流面と洪水吐の画像です。

ゲート(ダムから水を流す設備)

洪水吐(こうずいばき)とはこの円の部分の名称で、ゲートから減勢池(げんせいち)付近までを指しています。
大雨・洪水の時に、ダムから白石川へ流す水量を調節します。

減勢池(水の勢いを弱める池)

カメラは虎岩(とらいわ)に設置しています。

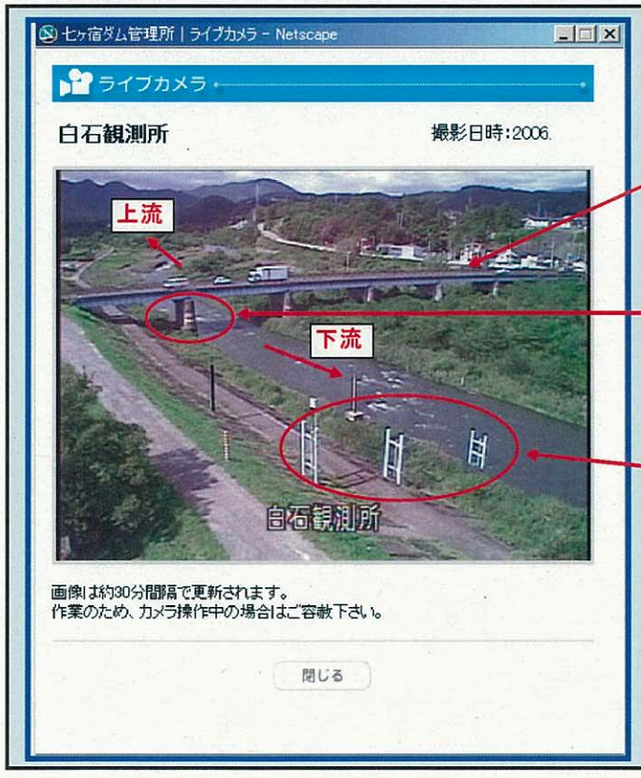


画像は薬師橋付近(旧 かんぽの宿白石 付近)を映しています。

白石川砂防堰堤
白石市内を流れる館堀川～沢端川は、この堰堤の左側奥より取水しています。

薬師橋
夏には、この付近に多くの鮎釣り人が訪れます。

カメラは、国道4号と113号が交差する六本松警報所に設置にしています。

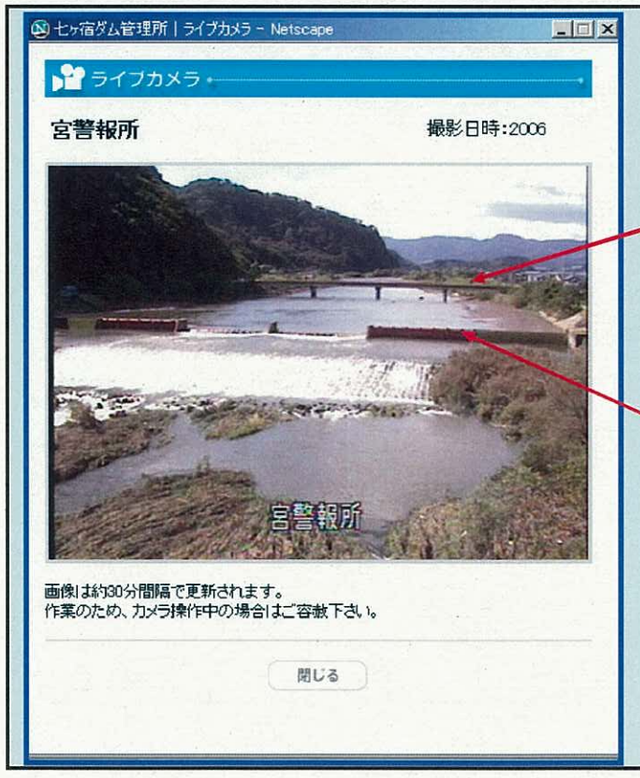


白石大橋付近の画像です。

白石大橋

上の線が特別警戒水位(避難の目安になる水位)で、下の線が警戒水位(消防団が出動する目安になる水位)です。
大雨での河川増水時は、これを参考に避難準備をしてください。

量水標
川の水位を測るためのもので目盛りが記してあります。



蔵王町宮付近のカメラ画像で、カメラの方向は白石川上流の内親堰を向いています。

この橋より約400m上流は蔵王町松ヶ丘の白鳥飛来地で、毎年冬には、多くの白鳥が訪れ、人々の憩いの場所となっております。

内親堰
これより約200m下流が白石川と松川の合流点となっています。